



お客様の不満は
承知しておりますが
このような状況は
認めかねます

なんだと!?

他のお客様にも
ご迷惑が
かかりますので
落ち着いてください



何が落ち着けだ!
このクソ野郎!!

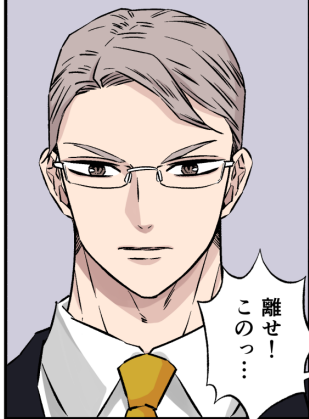


キャアアッ!!



私に対応させて
いただきます

お前が
オーナーか!?

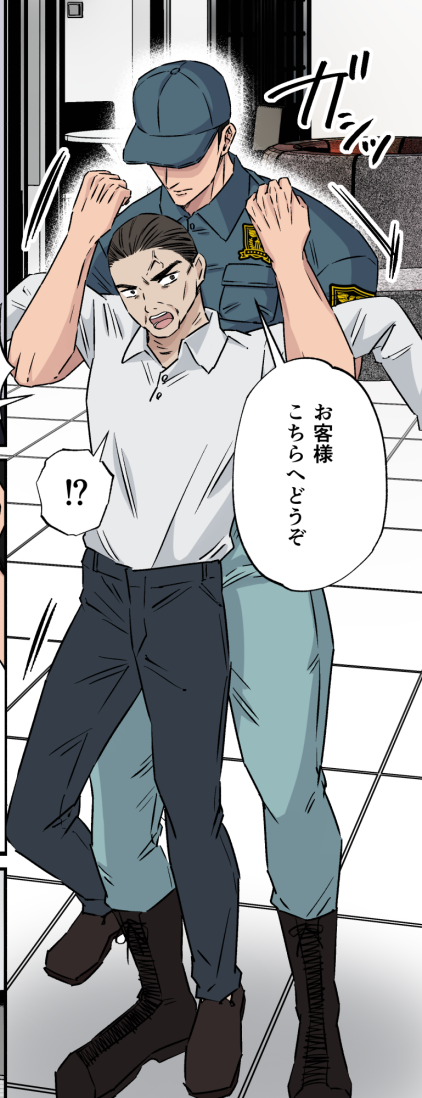


離せ！
このっ…



あなたは昨晚から
大量の飲酒を
されていますね

オキッ



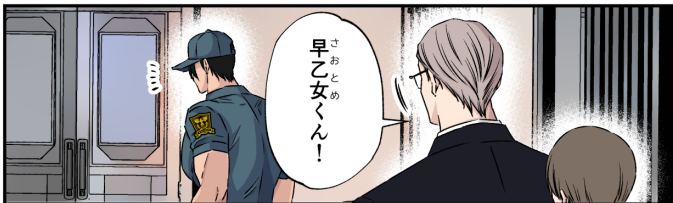
お客様
こちらへどうぞ

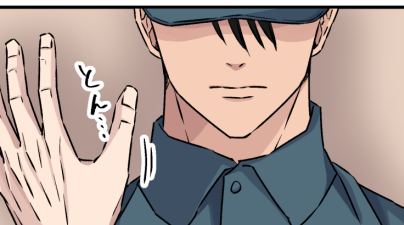
!?



サキッ

くそっ…！
若僧が
偉そうにっ…！







私の愛人に
ならないか？



失礼します

それは…
俺にはできません

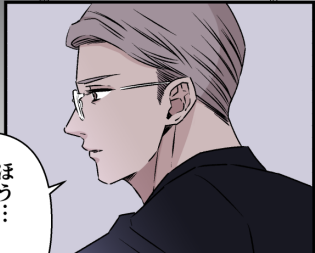


ハッ
ハッ

!?



いっ...
いっ...



ほう...



これが
本当の君か……

驚いた顔も
いいね



更に
君のことを
知りたくなったよ



失礼しました



社長

俺はただの警備員です

こんなこと
ふさわしくない

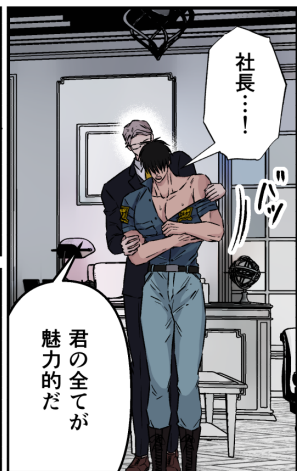
君は特別だよ

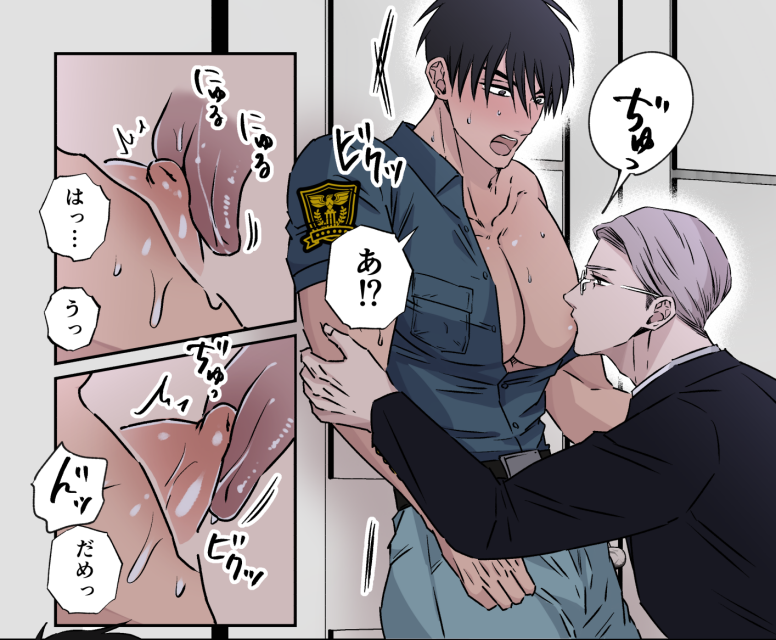


仕事に
戻らせてください

仕事は重要だが
今はふたりの時間だ







ちゅっ

ビクッ

あ!?

はっ...

うっ

ちゅっ

んっ

だめっ

ビクッ

早乙女くん
君がどれだけ抗おうと
私の興味は変わらないよ

んっ
んっ

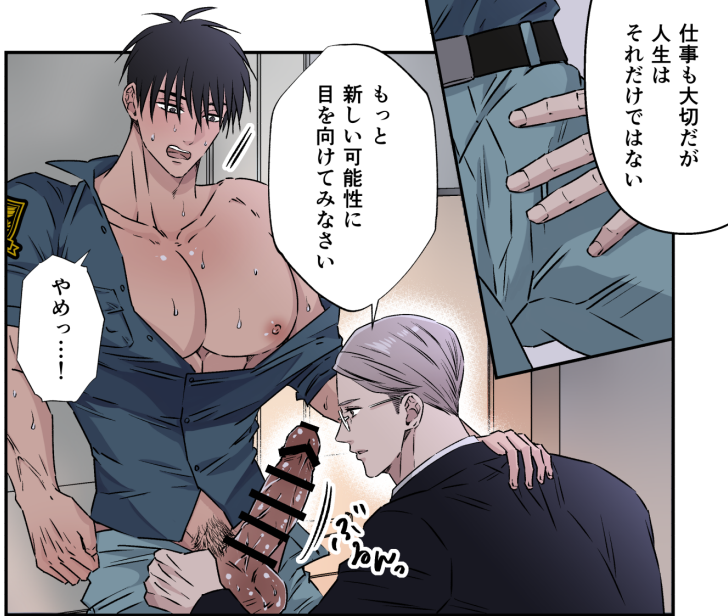
はっ

うっ

私はただ
仕事を全うしたい
だけです!

それ
以外にはっ...

んっ
んっ





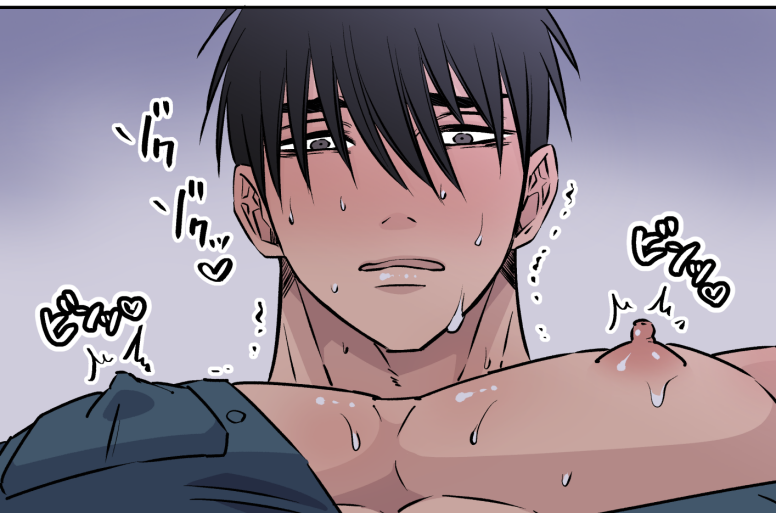
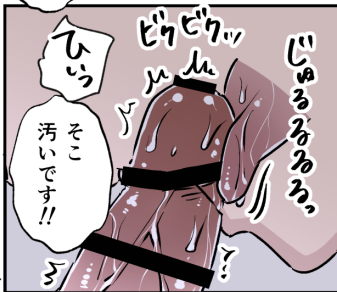
おー!!

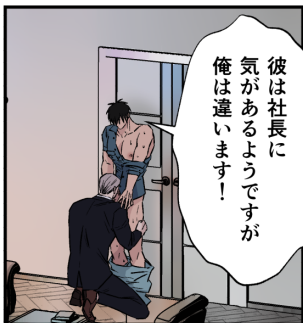
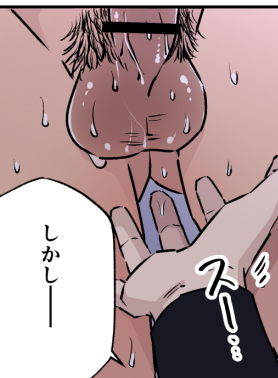
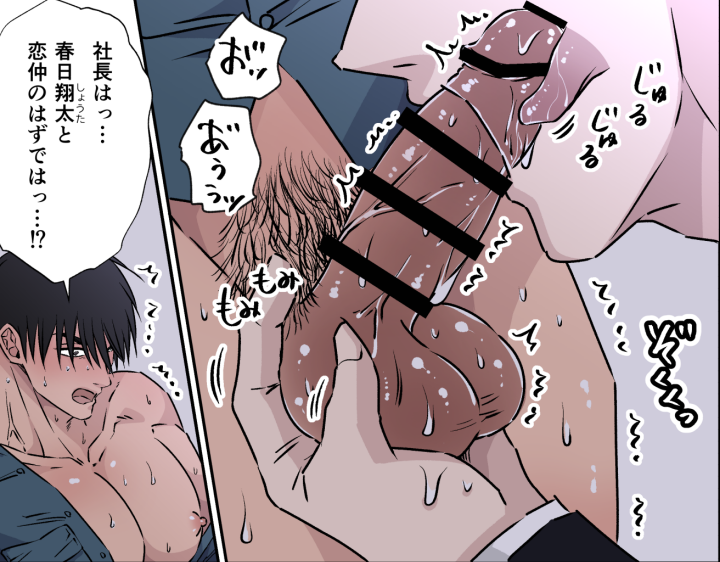
じゅるるるるるる

んんんんんん

んんんんんん

んんんんんん







痛いかな？

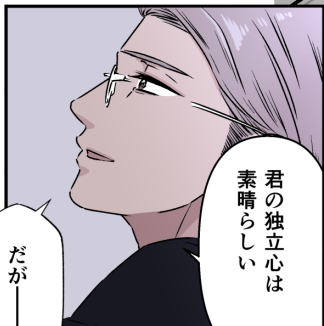
安心しろ
すぐに解れる



私は君に
興味がある



俺は自分の意志で
自分の道を
選びたいんです！



君の独立心は
素晴らしい

だが――



新しい扉を
開く勇気も必要だ



はぁッ
ジュッ
ジュッ



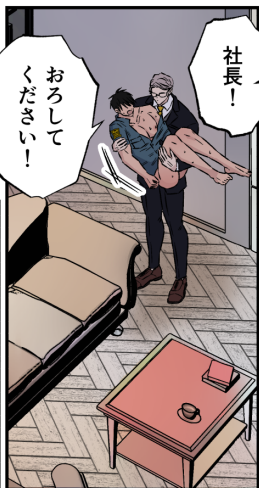
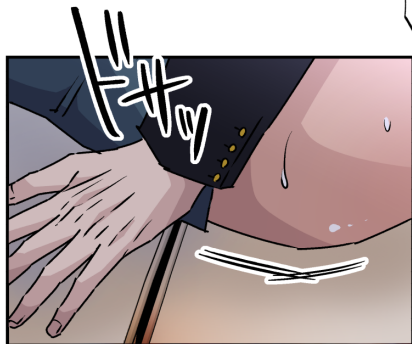
ここが良いか？



おっと

!?

立ってられ
なかったか？



社長！

おろして
ください！

早乙女くん

君のことが
気になって仕方ない



難しい？

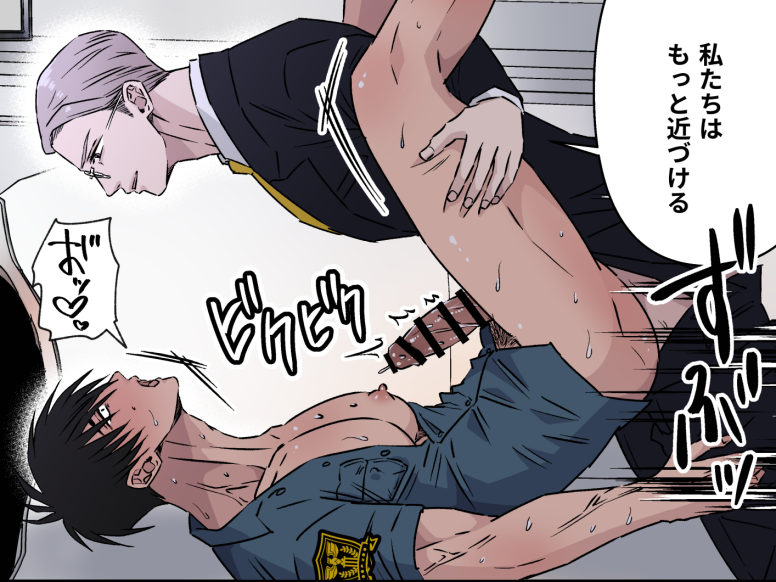
いや…



これ
以上は…

待ってください





私たちは
もっと近づける

あはは

びびび

すんすん



俺はっ…

春日翔太のように
社長のことは…



良かった
もう痛くない
ようだね



他の男の
名を出すな



今は
君と私の時間だ

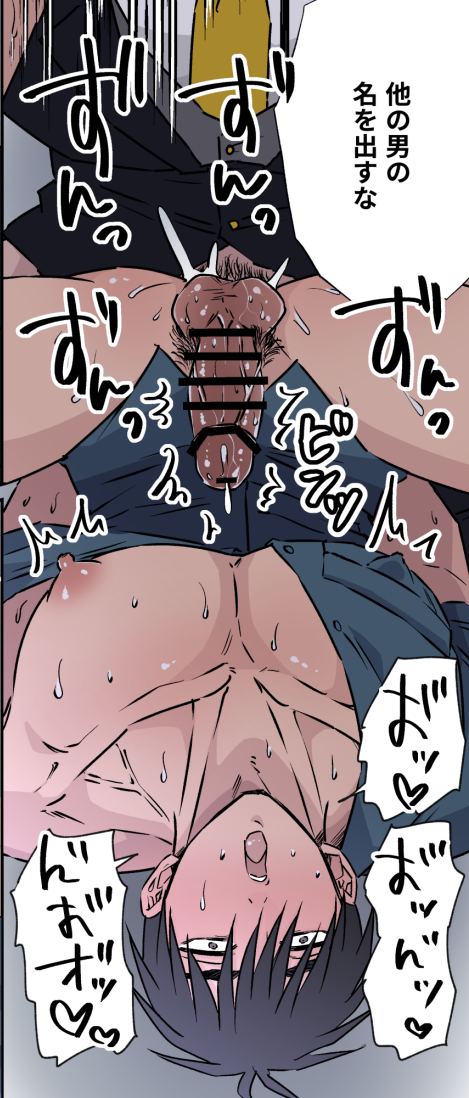


あ♡お♡お♡

社長っ…

あッ

そこばっか
突いちゃ
だめですっ…!!



ずんずん
ずんずん

ずんずん
ずんずん
ずんずん
ずんずん

ずんずん
ずんずん
ずんずん

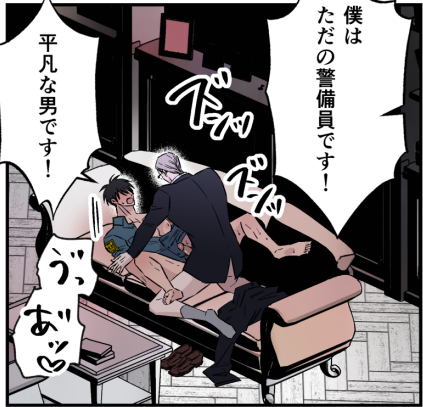
ん♡お♡お♡
お♡お♡お♡

なんと魅力的な男なんだ君は…



僕はただの警備員です！

平凡な男です！



ただの警備員ではない

君には特別な何かがある

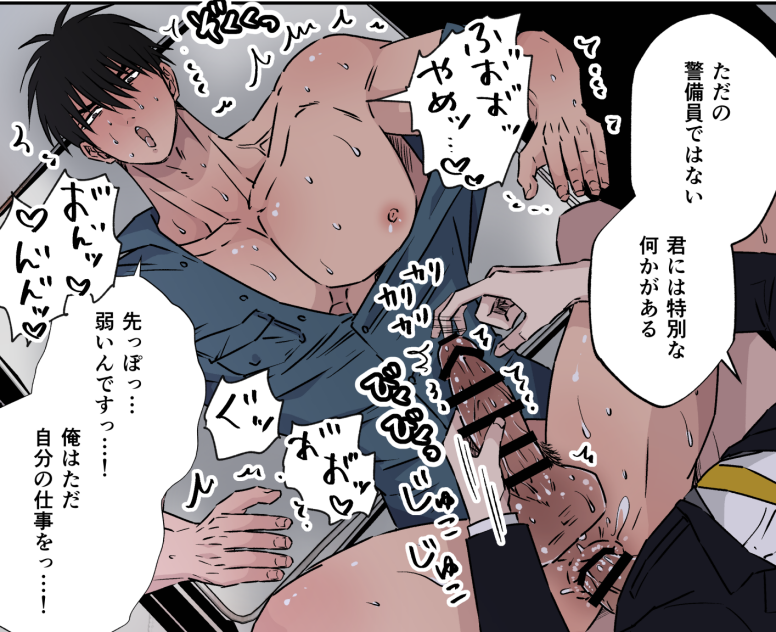
ふおぶっ
やめッ…

かかっ
かかっ
びびっ
じゅっ
じゅっ

ぐっ
おぶっ
ん

先っぽっ…
弱いんですっ…！

俺はただ
自分の仕事をっ…！



君の仕事への誠実を
私は高く
評価している

お♡♡
も♡♡
恋になる!!♡♡

ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽ

ぐんぐん

ぐんぐん

必要なら
時間をあげよう

お♡♡
お♡♡

ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽ

ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽ

♡♡♡♡♡

しかし
君には
分かってほしい

ガクガク

私の気持ちは
変わらない

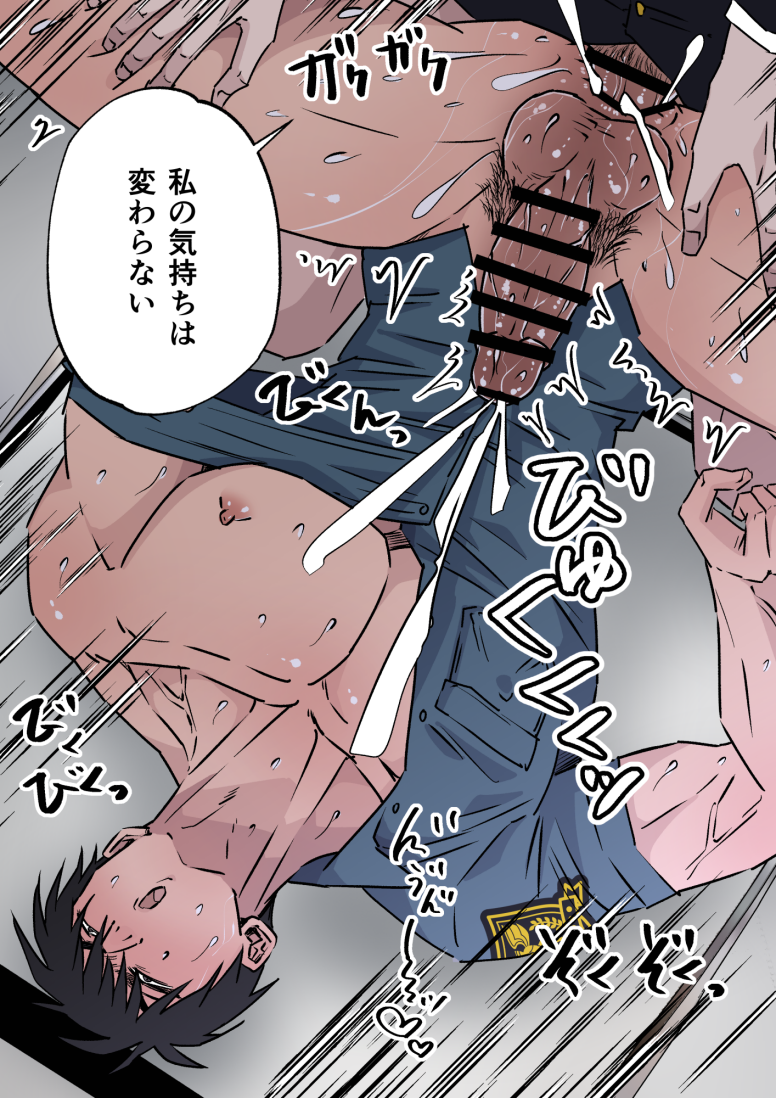
びんびん

びんびん

びんびん

びんびん

びんびん

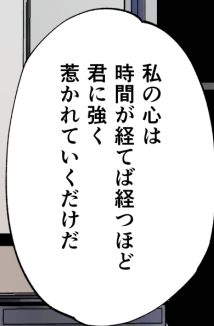
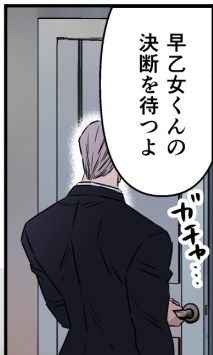




チヤッ

早乙女くんの
決断を待つよ

ガチャ...



私の心は
時間が経てば経つほど
君に強く
惹かれていくだけだ



ん...

10
11
12...

END